

1 調査名称：松江市都市交通戦略策定調査

2 調査主体：島根県松江市

3 調査圏域：松江都市圏

4 調査期間：平成 22 年度

5 調査概要：

- ・人口減少が生活の質の低下や都市活力の衰退につながらない松江市の将来像として「公共交通を活かした拠点連携型都市構造」を目指している。新しい交通システムの導入も含めた安全で高い利便性を有する交通体系と魅力的な都市像を、協働で実現する戦略的プログラムとして、松江市都市交通戦略の策定を予定している。
- ・戦略策定に向け、「交通とまちづくり」に関する現状・課題・目指すべき将来都市像等について市民の関心喚起や意識啓発が不可欠であり、（１）「松江の交通とまちづくり」広報映像作成、（２）「松江市交通まちづくりフェスタ」開催、（３）駐車場実態調査を行うものである。

I 調査概要

- 1 調査名：松江市都市交通戦略策定調査
- 2 報告書目次（※報告書は「駐車場実態調査」のみ）

第1章 業務概要

- 1.1 目的
- 1.2 業務名・履行場所・期間等
- 1.3 業務項目
- 1.4 位置図
- 1.5 実施方針

第2章 現況の整理

- 2.1 広域的な位置付け
- 2.2 人口構造
- 2.3 産業構造
- 2.4 土地利用及び都市施設
- 2.5 交通体系
- 2.6 観光
- 2.7 関連計画の整理

第3章 駐車場実態の調査・分析

- 3.1 駐車実態の調査・分析フロー
- 3.2 駐車施設整備状況調査
- 3.3 駐車場の利用状況調査
- 3.4 路上駐車状況調査
- 3.5 一時預り駐車状況
- 3.6 駐車実態の分析

3 調査体制： 松江市都市計画部都市計画課計画係
※委員会・幹事会等の検討体制なし

4 委員会名簿等： なし

II 調査成果

■ 「松江の交通とまちづくり」広報映像 ■

1 調査目的：

- ・人口減少が生活の質の低下や都市活力の衰退につながらない松江市の将来像として「公共交通を活かした拠点連携型都市構造」を目指している。新しい交通システムの導入も含めた安全で高い利便性を有する交通体系と魅力的な都市像を、協働で実現する戦略的プログラムとして、松江市都市交通戦略の策定を予定している。
- ・戦略策定に向け、「交通とまちづくり」に関する現状・課題・目指すべき将来都市像等について市民の関心喚起や意識啓発が不可欠であり、「松江の交通とまちづくり」広報映像作成を行うものである。

2 調査フロー

※広報映像作成のため無し

3 調査圏域図

※広報映像作成のため無し

4 調査成果

別添DVD

II 調査成果

■ 松江市交通まちづくりフェスタ ■

1 調査目的：

- ・人口減少が生活の質の低下や都市活力の衰退につながらない松江市の将来像として「公共交通を活かした拠点連携型都市構造」を目指している。新しい交通システムの導入も含めた安全で高い利便性を有する交通体系と魅力的な都市像を、協働で実現する戦略的プログラムとして、松江市都市交通戦略の策定を予定している。
- ・戦略策定に向け、「交通とまちづくり」に関する現状・課題・目指すべき将来都市像等について市民の関心喚起や意識啓発が不可欠であり、「松江市交通まちづくりフェスタ」開催するものである。

2 調査フロー

※広報イベントのため無し

3 調査圏域図

※広報イベントのため無し

4 調査成果

開催日時：平成23年3月12日（土） 10:00～15:00

開催場所：くにびきメッセ 大展示場（松江市学園南1丁目2-1）

来場者数：2,000名（内公共交通来場者 101名）

内 容：

（1）イベント

①「松江の交通とまちづくり広報映像」上映

②ゆるキャラ交通まちづくりクイズ大会

徒歩・自転車・自動車・公共交通とまちづくりに関する内容のクイズ大会を実施。約100名参加。

③市長クロストーク

自動車利用抑制や公共交通利用促進、LRTなどの新しい交通システムとまちづくりについて地元タレントとクロストーク。約100名参加。

④交通まちづくり探検ラリー

ブースの展示内容を読み解きながらキーワードをそろえるラリーを実施。153名参加。

（2）ブース展示

交通とまちづくりに関連する企業、団体、行政機関等でブース展示を行う。交通まちづくり関連で18事業所の出展。

（3）その他

公共交通での来場者に粗品をプレゼントする企画を実施。2,000名中101名（5%）がバスや鉄道を利用して来場。



【チラシ】



【ブース展示】



【クイズ大会】



【クロストーク】



【松江市都市計画課ブースに展示した導入イメージCG】

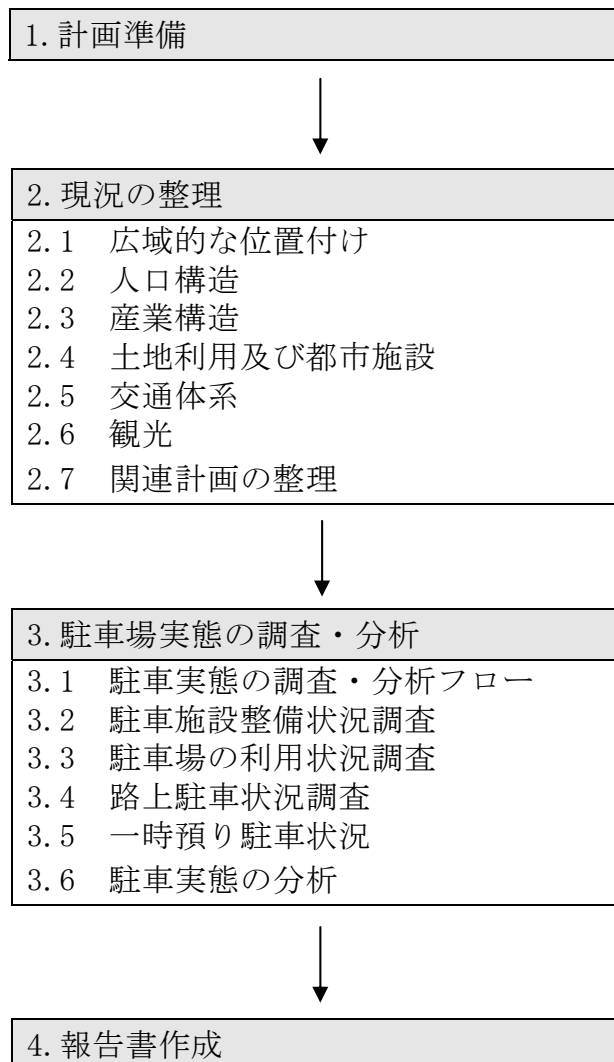
II 調査成果

■ 駐車場実態調査 ■

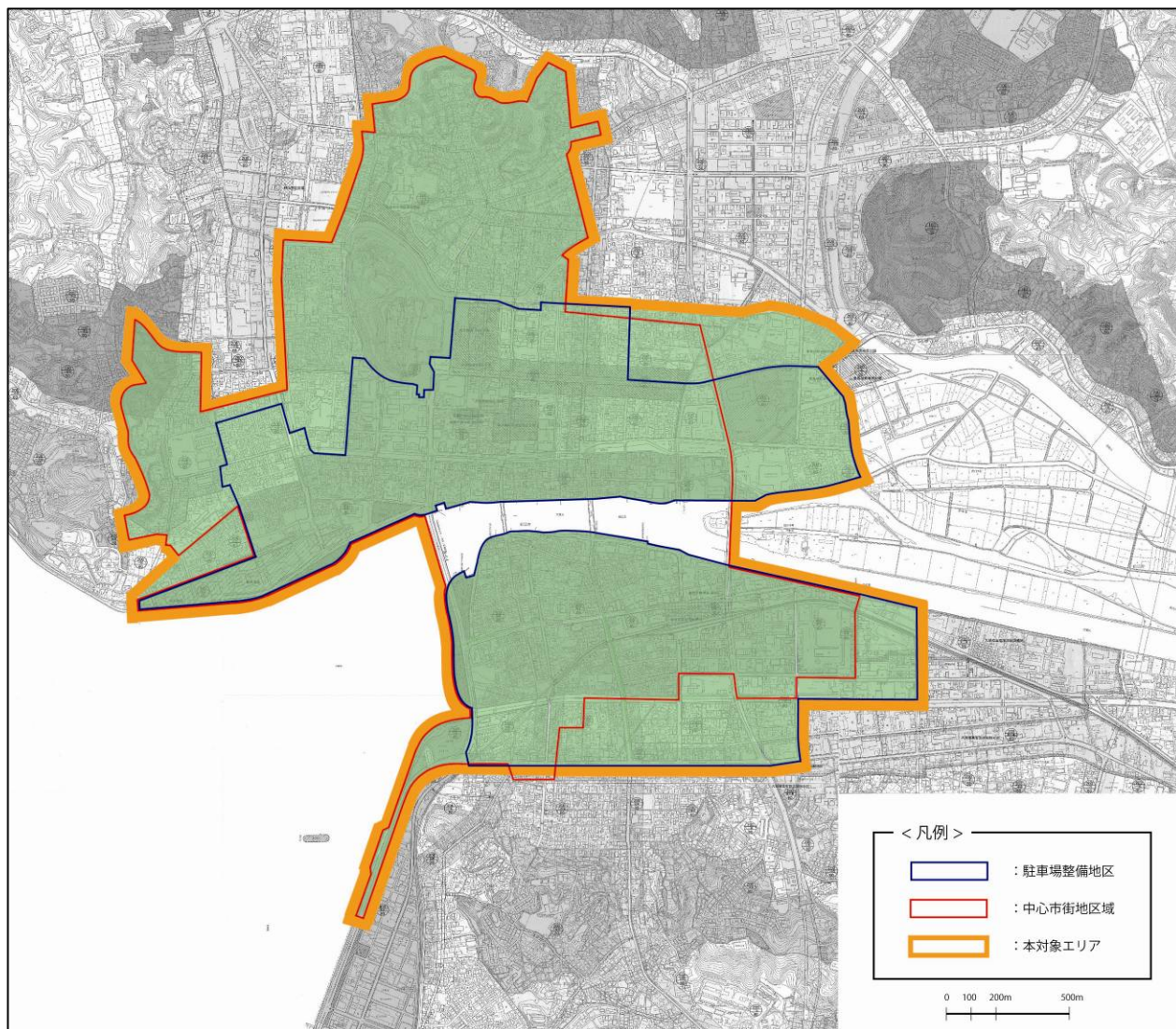
1 調査目的：

- ・人口減少が生活の質の低下や都市活力の衰退につながらない松江市の将来像として「公共交通を活かした拠点連携型都市構造」を目指している。新しい交通システムの導入も含めた安全で高い利便性を有する交通体系と魅力的な都市像を、協働で実現する戦略的プログラムとして、松江市都市交通戦略の策定を予定している。
- ・戦略策定に向け、「交通とまちづくり」に関する現状・課題・目指すべき将来都市像等について市民の関心喚起や意識啓発が不可欠であり、駐車場実態調査を行うものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図



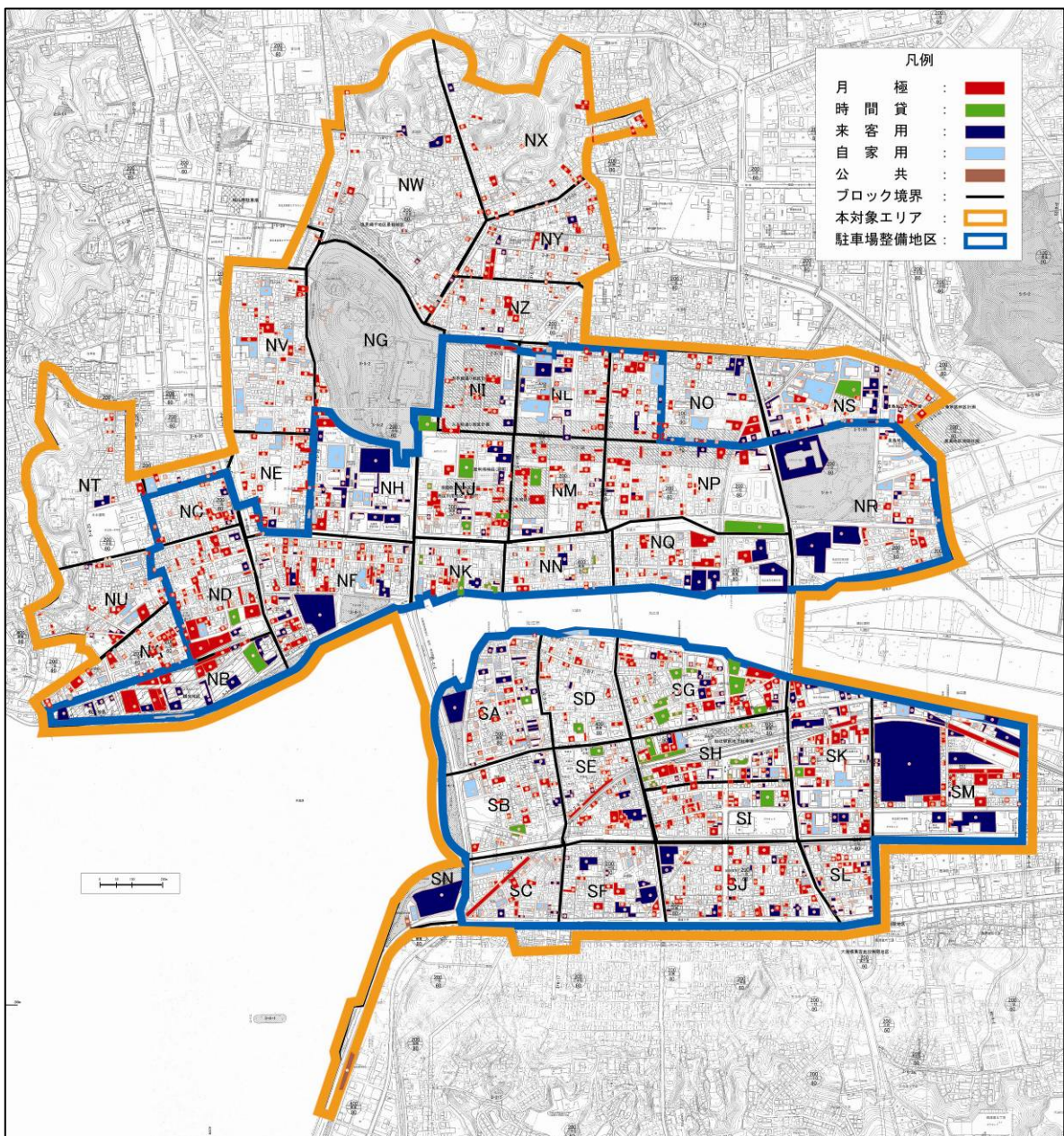
▲調査圏域図

4 調査成果

4.1 駐車実態の分析

1) 分布特性

- ・月極駐車場は、調査対象全域にわたり、一様に分布していることが伺える。
- ・不特定多数の方が利用すると考えられる時間貸駐車場は、橋北エリアでは、官公庁施設の近隣、橋南エリアでは JR 沿線を中心とするブロックに分布している。
- ・来客用、自家用といった専用駐車場については、主として、現駐車場整備計画エリアに分布している状況である。

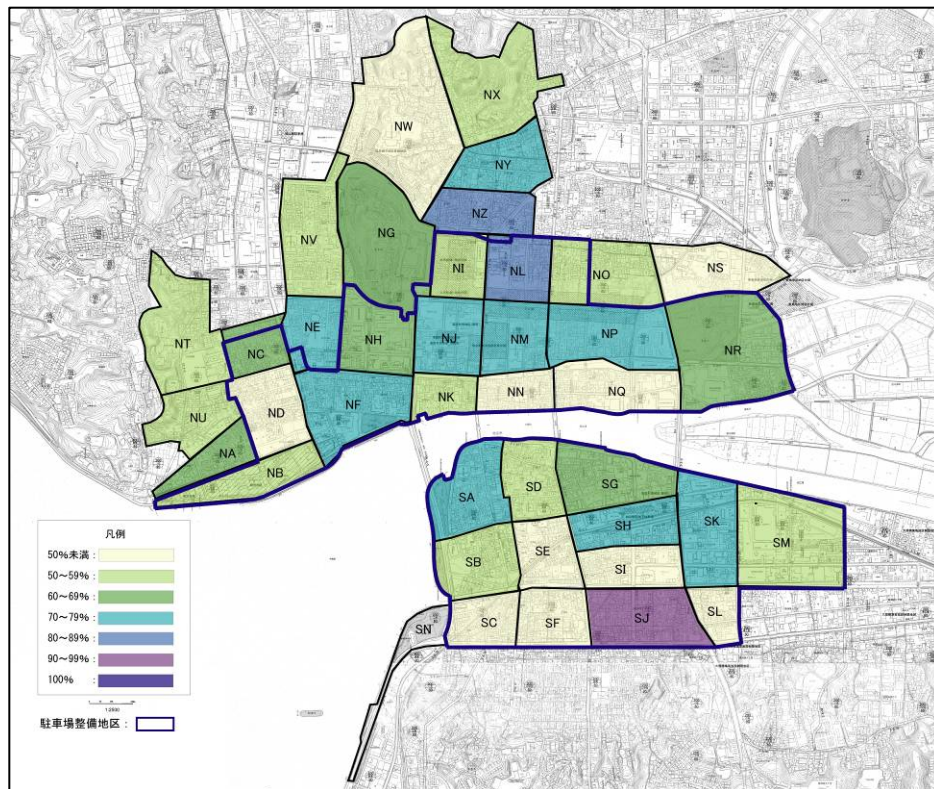


▲駐車場の分布状況

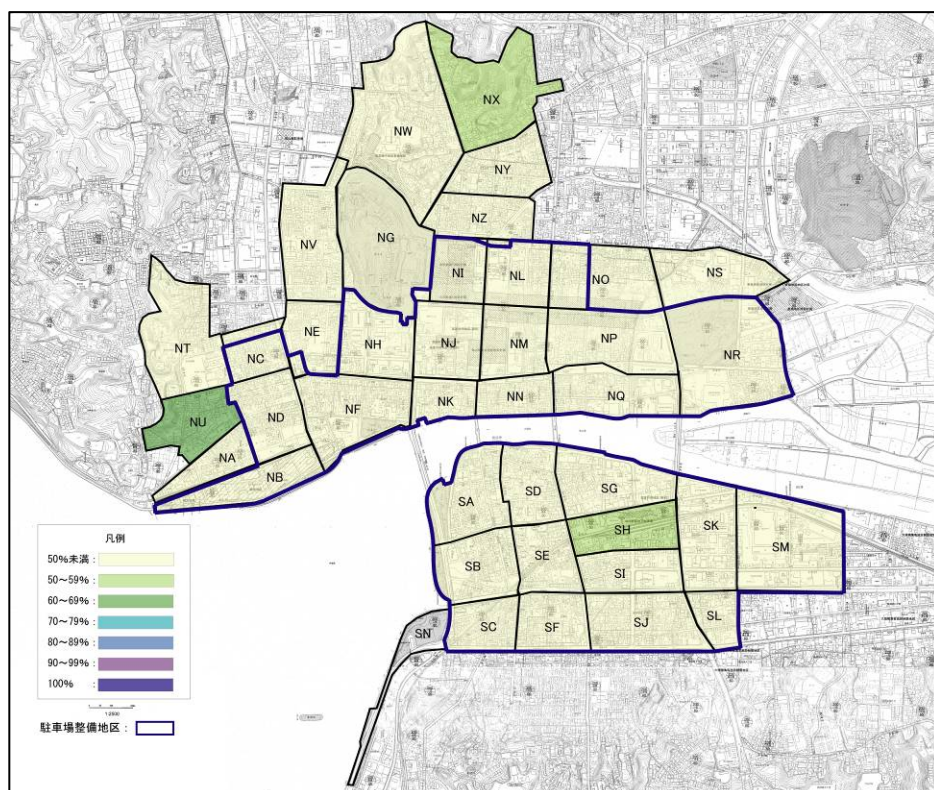
2) 利用特性

(1) 駐車時間分布

- 平日ピーク時の利用状況をみると、橋北エリアでは飽和状態に近い（利用率 80%以上）のブロックは、NL、NZ の住居地区となっており、橋南エリアでは SJ の住居地区となっている。
- 休日ピーク時の利用状況をみると、橋北、橋南エリアのほとんどのブロックで利用率が 50% 未満となっており、自動車の高い可動状況が伺える。



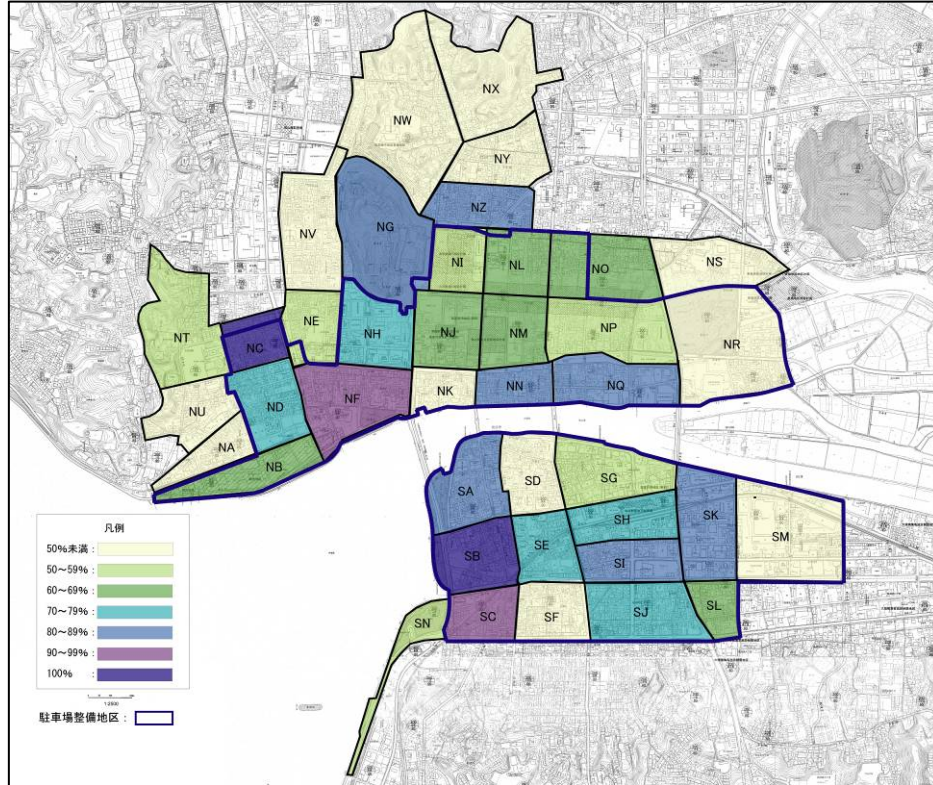
▲月極駐車場ピーク時利用状況(平日)



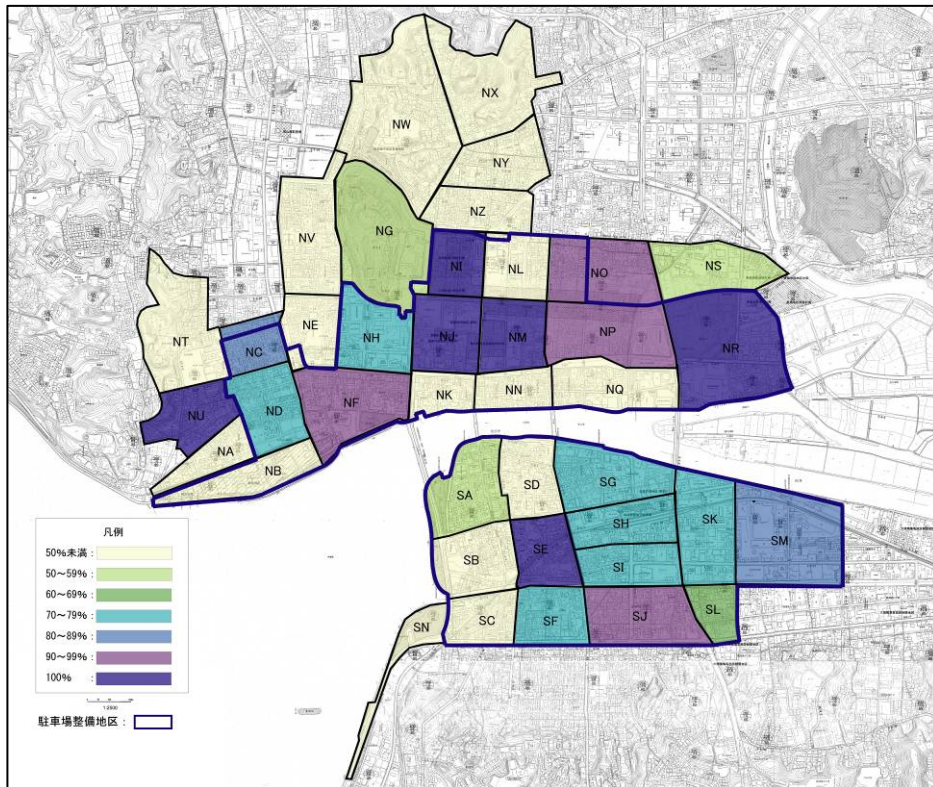
▲月極駐車場ピーク時利用状況(休日)

(2) 専用駐車場

- 平日ピーク時の利用状況をみると、橋北、橋南両エリアで利用率 50%を超えるブロックが大半であり、業務、買物といった生産・消費活動に自動車が仕様されていると推測される。
- 休日ピーク時の利用状況をみると、平日に比べ、利用率 50%未満のブロックが増えている。



▲専用駐車場ピーク時利用状況(平日)

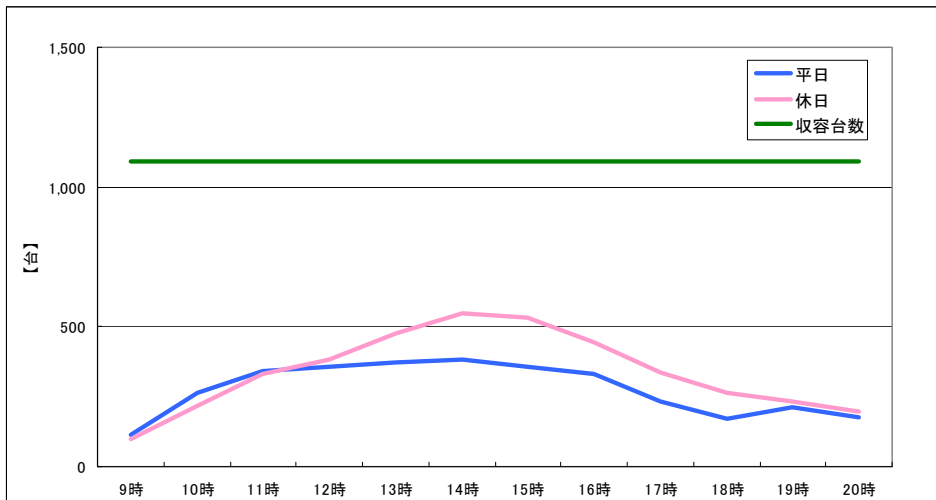


※休日が終日閉館している駐車場が代表となっているものについては、近隣ブロックで土地利用が類似していると判断されるブロックのピーク率を適用した。

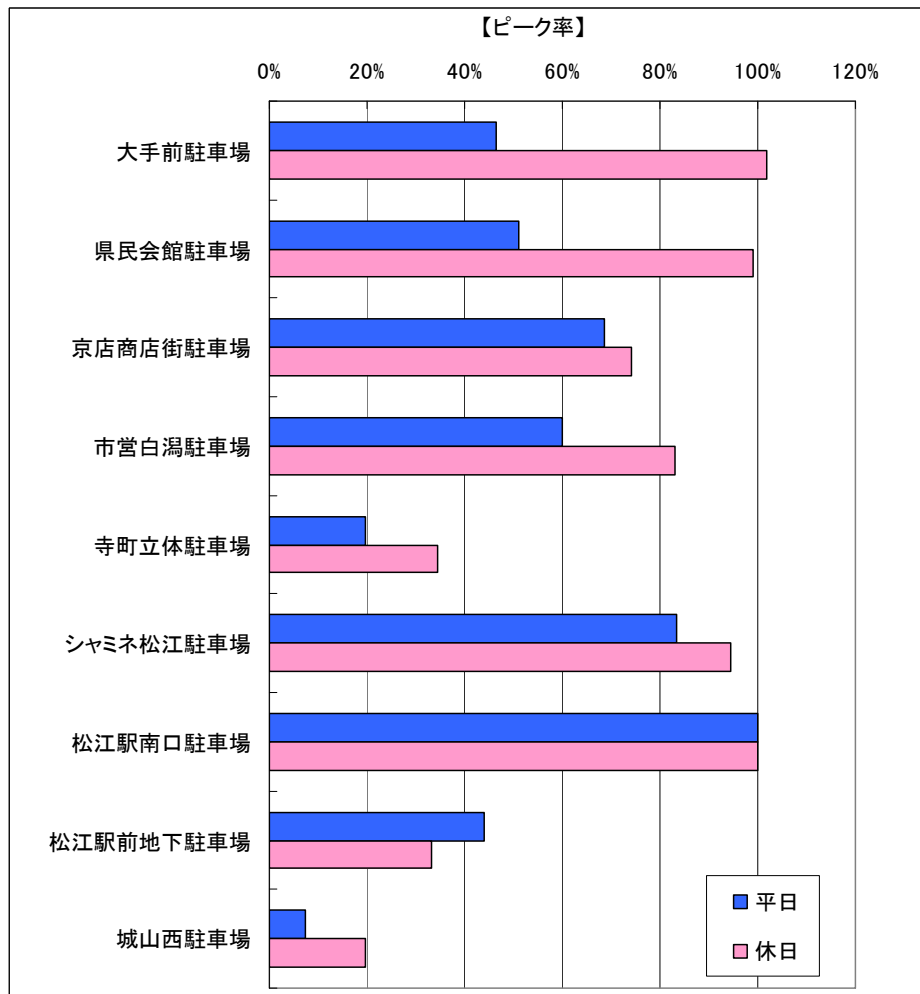
▲専用駐車場ピーク時利用状況(休日)

(3) 一時預り駐車場

- 代表一時預り駐車場における平休日の利用状況をみると、駐車台数では、午前中では平休日の利用台数が多く、業務等を目的とする車両であると推測される。12時以降では休日の利用台数が多くなっている。
- ピーク率をみると休日の方が高く、特に大手前、県民会館、市営白潟、シャミネ、松江駅南口では、飽和状態となっている。



▲平休日別時間帯別駐車台数(一時預り駐車場)



▲平休日別箇所別ピーク率(一時預り駐車場)

3) 路上駐車特性

(1) 路上駐車台数

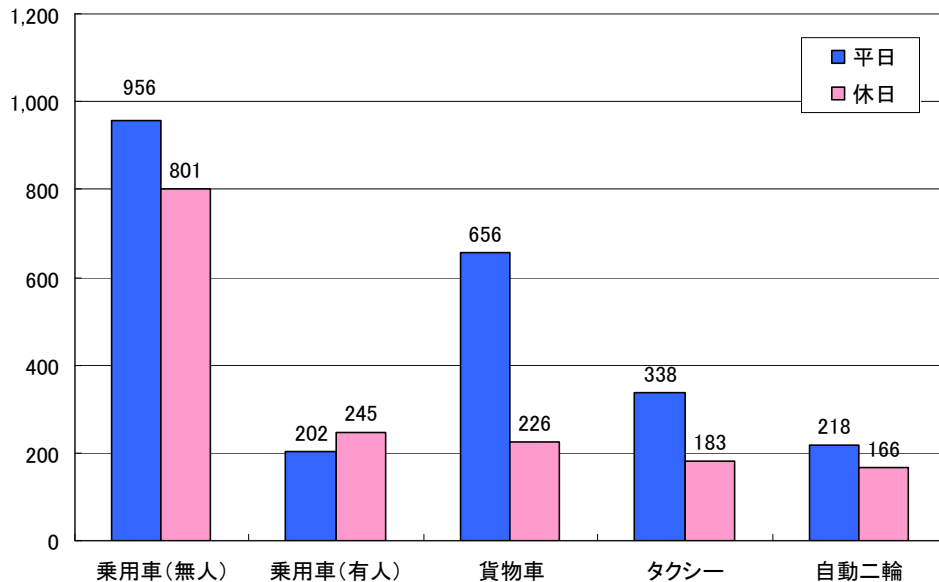
- ・調査対象エリア全体の路上駐車（自動二輪含む）台数をみると、平日の方が休日に比べ、約700台多くなっている。
- ・車種別にみると、平休ともに乗用車（無人）が4～5割と多い。自動二輪、タクシーについては大きな差は見られない。貨物車では休日の方が平日の半分となっており、業務活動の影響が大きいと判断できる。

▼車種別路上駐車台数 【台】

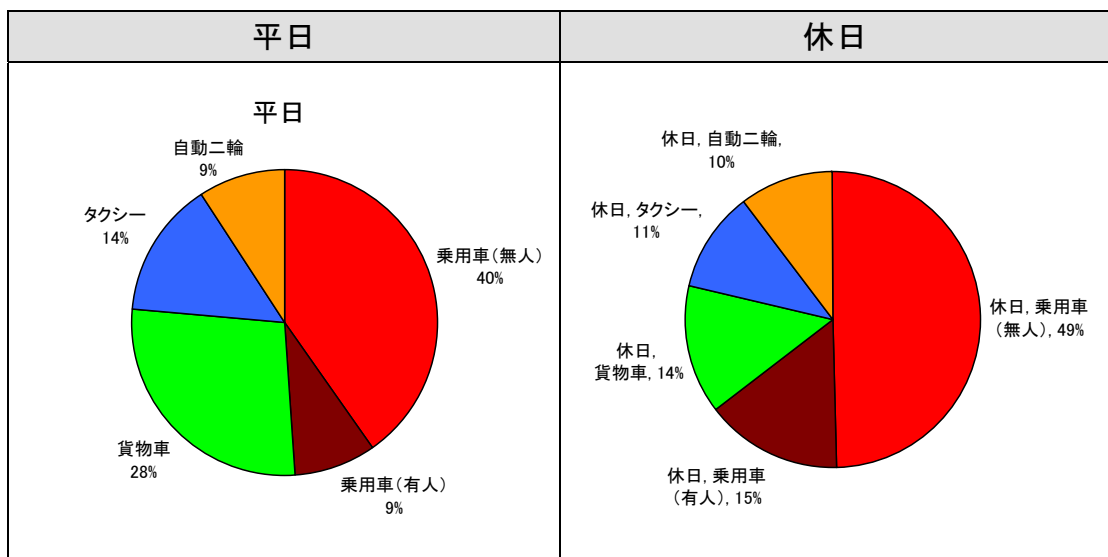
区分	乗用車(無人)	乗用車(有人)	貨物車	タクシー	自動二輪	合計
平日	956	202	656	338	218	2,370
休日	801	245	226	183	166	1,621

▼車種別路上駐車構成比

区分	乗用車(無人)	乗用車(有人)	貨物車	タクシー	自動二輪	合計(車)
平日	40%	9%	28%	14%	9%	100%
休日	49%	15%	14%	11%	10%	100%



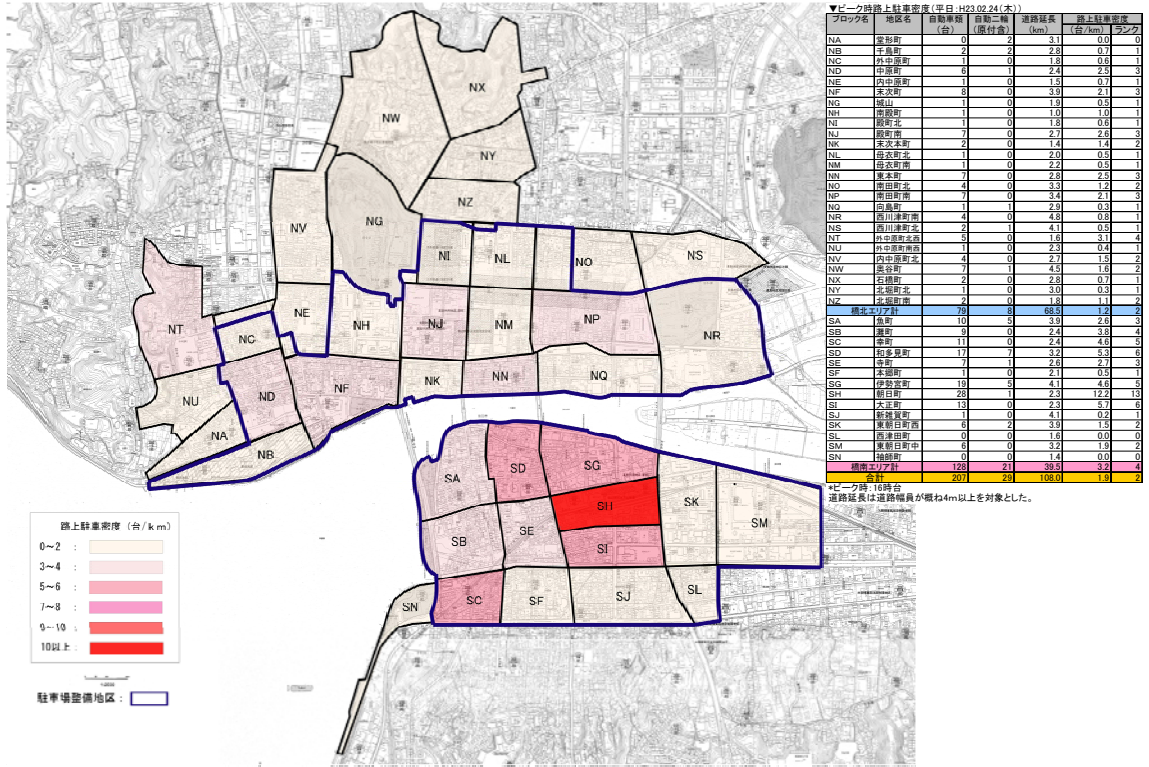
▲車種別路上駐車台数



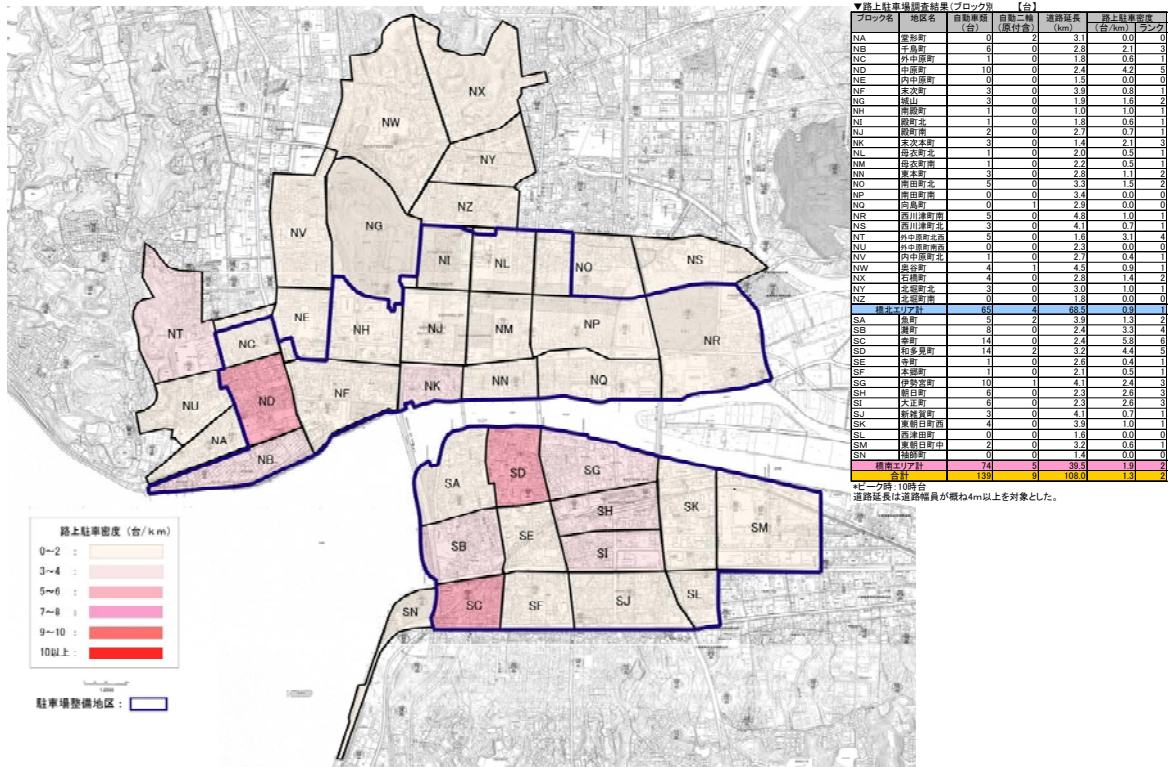
▲車種別路上駐車構成比

(2) 路上駐車分布状況

- 平日におけるピーク時は16時台となっており、この時の分布状況を以下に示す。
- SD、SHブロックに多く見られる。
- 休日におけるピーク時は10時台となっており、この時の分布状況を以下に示す。
- SDブロックに多く見られる。



▲ピーク時路上駐車分布(平日)



▲ピーク時路上駐車分布(休日)